



GE Healthcare

PRESS RELEASE

2012 年 6 月 18 日

GE ヘルスケア・ジャパン

ポケットサイズの超音波診断装置 Vscan 国内販売 1,000 台突破

震災後の災害医療や救命救急、僻地など多彩な用途で活躍
超高齢化で重要性が増すプライマリ・ケアや在宅医療の充実に貢献

医療課題の解決に取り組むヘルスケアカンパニー、GE ヘルスケア・ジャパン株式会社(本社:東京都日野市、社長:川上潤)が 2010 年 10 月 1 日に発売したポケットサイズの超音波診断装置「Vscan」の国内販売台数がこのほど 1,000 台を突破しました。

Vscan は、米ゼネラル・エレクトリック(GE)が展開する医療に関するビジネス戦略「ヘルシーマジネーション(healthymagination)*1」の厳しい認証審査をクリアした当社最小・最軽量(本日現在)*2 の超音波診断装置。どこへでも持ち運べる手軽さと片手で扱える操作性に加え、在宅や僻地など多彩な医療現場のニーズに応える臨床性能が高く評価され、発売から 1 年 7 カ月とこれまでの当社発売製品のなかで最速のペースで国内販売 1,000 台を達成しました。

1,000 台の内訳は、在宅・訪問医療を行う開業医と循環器・救急などの病院施設がそれぞれ約 50% ずつとなっています。国内の高齢化の加速に伴う慢性疾患患者の増加を背景に、患者一人ひとりを身近で総合的に診るプライマリ・ケアの重要性は今後ますます高まると見込まれています。在宅・訪問医療においてはこれまで聴診器での診断が主流でした。そのような中、携帯性と操作性に優れた Vscan が新たな医療の「目」として、プライマリ・ケアの現場で幅広く利用されるようになってきています。

またプライマリ・ケアのみならず、心臓をはじめとする循環器分野や、一刻を争う救命救急においても使用されている点は、Vscan がその携帯性や操作性に加えて、体内をリアルタイムで描出できる高い臨床性能を有していることを示しています。

なお Vscan は、昨年後半に GE の社会貢献組織「GE ファンデーション」から岩手・宮城・福島の前被災 3 県に寄贈した軽自動車のドクターカー*3「めんこい」11 台に搭載された医療機器の 1 つで、被災地域に点在する仮設住宅等への往診などにも幅広く使用されています。



どこへでも持ち運べる手軽さと片手で扱える操作性を有し、プライマリ・ケアをはじめとする多彩な医療現場のニーズに応える高い臨床性能を誇る Vscan

1,000 台目の納入先である立川相互ふれあいクリニック(東京都立川市、所長:向山新)内科の藤井幹雄先生は、「半年ほど前、震災支援で訪れた病院で、この装置と出会いました。すぐに自分で試してみて、これは良いなと思いました。先日納入後、まだ模索しながら、というのが正直なところですが、腹水穿刺や尿閉のときの確認などに使っています。また、今後ご高齢の患者さんの心機能検査などにも使っていけたらと思っています」と、プライマリ・ケアにおける Vscan の可能性について語っています。

また当社では、医師が手軽に購入・利用できるように、これまでの医療機器とは異なるマーケティング手法を Vscan に取り入れています。

Vscan は、当社営業スタッフによる対面販売や GE グループの金融事業部門である GE キャピタルと連携したリース・割賦販売に加え、当社で初めて、専用ウェブサイト(www.gehealthcare.co.jp 内 Vscan コーナー) 経由での販売を展開し、順調に売上を伸ばしています。

加えて、オリックスグループのオリックス・レンテック株式会社(本社：神奈川県横浜市、社長：太田敏晶) と組んで 2010 年 12 月からレンタルサービスも開始しました。全国の医療機関から数多く寄せられる試用依頼に対応し、Vscan の利用拡大を図っています。

当社代表取締役社長兼 CEO の川上潤は、「発売から 1 年 7 カ月という短期間で国内販売 1,000 台を達成でき大変嬉しく思います。昨年の東日本大震災後の災害医療から救急、循環器領域、胎児診断まで、幅広い診療科の先生に様々な医療現場で Vscan をご利用いただいておりますが、なかでも当社ではこの Vscan の導入を機に、『プライマリ・ケア』領域の充実を目指してきました。在宅医療においては現在、聴診器での診断が主流ですが、この Vscan を利用することで在宅医の診療の質を格段に高められると期待しています。当社では今回の 1,000 台達成を機に、今後も Vscan の用途開拓を積極的に進め、これまで超音波診断装置の使用経験のない方々に対しても新たな利用法を提案することで、超高齢社会に対応した優れた医療ソリューションの提供を図ってまいります」と述べています。

Vscan は、そのデザインが「医療関係者、生活者双方の新たな社会的、人間的価値を創出した」と高く評価され、当社製品として初めて 2011 年度のグッドデザイン金賞(経済産業大臣賞)を受賞しました。

2010 年 2 月に米国を皮切りに世界各国で発売された Vscan は、現在では後発の日本が全世界トップである約 4 割の販売台数を占めており、日本で圧倒的な人気を誇ります。海外諸国と異なり、Vscan の投入をフックにプライマリ・ケア市場の確立に取り組んできた点が奏功した要因の 1 つとみています。

その他、すでにお使いの先生方からも、Vscan 国内販売 1,000 台に向けて、次のようなコメントが寄せられています。

- 「Vscan は手のひらの“科学の目”です。これを身につけると日常診療のスピードと質が大幅に向上します。いま Vscan なしの私は考えられません。みなさんも、ぜひこのすばらしさを体験なさってください」(秋田県秋田市：秋田赤十字病院消化器科 石田秀明部長)
- 「2D が世に出た 1980 年代から、白衣のポケットに入る携帯小型装置の創作を各メーカーにお願いしてきました。GE はそれを見事に成し遂げました。画像も美しく、Vscan は愛すべき素晴らしい機械です」(兵庫県西宮市：西宮渡辺心臓・血管センター 吉川純一院長)
- 「小さい機械ですが、心エコーが再発見されました。驚きをもって成長を見守っています」(千葉県浦安市：東京ベイ・浦安市川医療センター 渡辺弘之ハートセンター長)
- 「私もとても気に入っています。在宅医療の診断にとっても役立っています」(沖縄県宮古島市：ドクターゴン診療所 泰川恵吾理事長)
- 「ぱっと持って行って診ることができるのがいいですね。手軽に在宅でエコーを使えます。たくさん活用しています」(岡山県倉敷市：つばさクリニック 中村幸伸院長)
- 「こんなちいさいのに画期的な製品びっくりしました。めっちゃめっちゃ見えますね」(兵庫県川西市：さくらホームケアクリニック 久保雅弘理事長)



記念盾贈呈

左:立川相互ふれあいクリニック 内科 藤井 幹雄先生
 右:GE ヘルスケア・ジャパン(株)超音波本部長 多田 荘一郎

【Vscan の主要概要】

販 売 名 称: 汎用超音波画像診断装置 Vscan
 製 造 販 売: GE ヘルスケア・ジャパン株式会社
 本 体 サ イ ズ: 135 mm(縦)× 73 mm(横)× 28 mm(奥行き)
 画 面 サ イ ズ: 3.5 インチ
 重 量: 約 390g
 付 属 物: プローブ、ドッキングステーション(USB で PC 接続可)
 バッテリー持 続 時 間: 1 時間
 希 望 小 売 価 格: 98 万円(税込)
 発 売 日: 2010 年 10 月 1 日
 医 療 機 器 認 証 番 号: 第 221ABBZX00252000 号

- *1: ヘルシーマジネーション(healthymagination)は、世界が直面する深刻な医療問題の真の解決を目指して、2009 年 5 月に GE が策定したヘルスケアに関する戦略。イノベーションで環境課題の克服を図る「エコマジネーション」(2005 年 5 月導入)に続く中核戦略で、2015 年までに 60 億ドルを投じて、地域に適した技術開発、ヘルスケア IT の加速、格差のない医療の提供、在宅医療の推進の 4 分野で、100 種類のイノベーションを実施し、15%の医療コストの削減、15%の医療アクセスの拡大、ならびに 15%の医療の質向上を実現することを目指しています。詳細は www.healthymagination.com をご参照ください。
- *2: GE ヘルスケア・ジャパンの超音波診断装置の中でこれまでの最小製品は Venue 40 で、サイズは 282 mm(縦) × 274 mm(横) × 56 mm(奥行き)、重量は 3.2kg。
- *3: ドクターカーとは、消防と連携して(緊急の場合に消防署からの連絡を受けて出動)、医師(ドクター)を運ぶ緊急自動車。車内に十分な医療機器が装備されており、緊急時には医師による車内での診療が可能。めんこいは、被災 3 県では初となる「軽自動車のドクターカー」

GE ヘルスケア・ジャパン株式会社は、ゼネラル・エレクトリック(GE)のヘルスケア事業部門である GE ヘルスケアの中核拠点の 1 つとして、先端的な医療技術ならびに医療・研究機関向けの各種サービスを提供しています。医療用画像診断からライフサイエンス(生命科学)まで幅広い分野にわたる専門性を駆使しながら、GE の世界戦略「ヘルシーマジネーション」で掲げる「医療コストの削減」「医療アクセスの拡大」「医療の質の向上」の実現に向けて、国内外の医療・研究施設を中心に革新的な製品やサービスをお届けしています。主要取扱製品は、CT(コンピュータ断層撮影装置)、MRI(磁気共鳴断層撮影装置)、超音波診断装置、医療用画像ネットワーク、メディカル・ダイアグノスティクス(体内診断薬)、生体情報モニタ、液体クロマトグラフィー装置、細胞解析装置。2012 年 1 月 1 日現在の社員数は 2,050 名、国内の事業所数は 55 カ所。

ホームページアドレスは www.gehealthcare.co.jp (ライフサイエンス統括本部: www.gelifesciences.co.jp)。

お問い合わせ／本資料内の写真データの希望は以下まで
 GE ヘルスケア・ジャパン株式会社 コミュニケーション本部・松井亜起
 Tel: 0120-202-021 Fax: 042-585-5360 Mail: aki.matsui@ge.com